

7-1 今回の事故対応を振り返って・・・

今回の事故は、福岡市の中心市街地における大規模な道路陥没であったにも係わらず、「オール福岡」の力で7日間での早期復旧が実現できました。
最後に、この事故を振り返り、反省点や課題をまとめ、今後、災害発生時の対応や危機管理に活かしてまいります。

反省点・課題

危機管理体制

- 地下鉄七隈線建設工事事故対策マニュアルで想定した役割分担が機能しなかった。
- 設計担当の建設課は様々な問い合わせなどの対応に忙殺され、現場のバックアップが不足した。

初動対応

- 関係機関の緊急時連絡先を把握していたが、一部の関係機関とスムーズに連絡を取ることができなかった。
事故後、連絡先を再確認し、緊急連絡先一覧表を修正した。

埋戻し

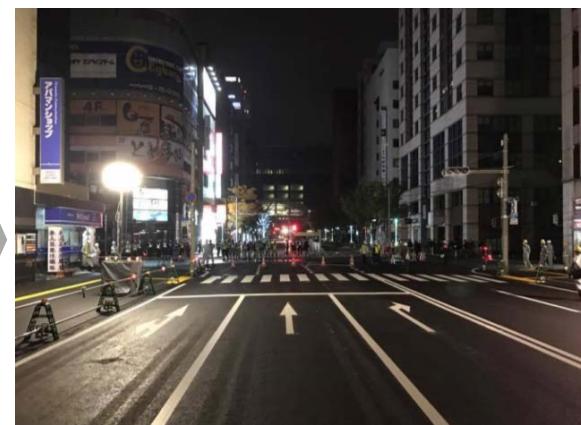
- 一日でも早い復旧を目指して、信号機や地下埋設物を緊急避難的に地中に残置することについて、関係機関に法的問題がないことを確認したうえで埋戻しを行った。
- 引き続き、残置物の安全性確認のためにモニタリングを行っていく。 (P28 参考資料8-6参照)

ライフライン

- 一日でも早い復旧を目指して、ライフラインを仮復旧・本復旧の二段階で実施する計画とし、仮復旧を行った。
- 今後は、事業者と協議を行いながら、ライフラインの本復旧を行っていく。

市民の皆さまの不安解消

- 道路開放後に路面が沈下する可能性があることについて、市民の皆さまへの周知が上手くいかず、路面沈下の際に不安を与える結果となった。



7-2 今回の事故対応を振り返って・・・

平成28年11月28日 **オール福岡の力に敬意を表して…**



陥没事故の復旧作業にご尽力いただいた **企業111社** 並びに作業に従事された **個人712名に感謝状贈呈**